



盛夏の夜を彩る花火

とやま

県広報

1985 / 8 NO. 199

エッセイ

姉妹校の八月

須山ユキエ

八月になると小杉町の南の奥の緑濃い金山は地区ぐるみ人待ち顔になる。人を守つ顔は優しく上気してどの人も同じ思いに弾む。東京からの小さい客人たちをどのような趣向でもてなしましょうか、と。

話は昭和十九、二十年の戦時中にさかのぼる。東京の猿樂小学校から一団の学童が金山に疎開して来た。翁徳寺、応照寺、善照寺を宿舎として金山小学校に転入した子供達を戦争のために親元を速く離れていとしげなと村人達はいつくしんだ。「あのっさん達にひもじい思いだけはさせまいぞ、というのがみんなの言葉でしてねえ」六十九歳のMさんの声は当時

の話になるとすぐにくぐもる。とは言っても配給の食糧など育ち盛りの子供達には焼石に水のありさまで物資の不足は深刻さをましていた。

保存食の山菜も食べつくし、何処も不如意な世帯の中から持ち寄った味噌も底をついた。

町の味噌屋に何とか都合をつけて貰わんまいけど山をおりる老人達を案じて土地の上学年学童が後を追った。ようよう入手した味噌桶をのせたりヤカアを前引き後押しして寺に辿りついた時の安堵を語るG氏の顔は少年のひたむきな表情に戻る。

「持ちつ持たれつですちや。あのっさん達が辛い時代の村の者達の心を結ぶ役割をして下はれたともいえますし……」

Mさんの考え考え結ぶ言葉が美しい。

敗戦によって猿樂と金山の縁は切れた。切れたところからもうと深い交流が脈打ちはじめた。二つの学校の少年少女は大人になって往來する。その度に、あの不幸な経験を二度とするこ

とのないように、と語り合った。この認識が二つの母校を姉妹校に結び毎年八月になると両校の児童達はPTAに付添われて訪ね合う。東京を。富山を。

疎開児童へのいわれなきじめにどれ程の少年少女が傷ついたことか、その体験を主題にした文学作品も少なくない中に、

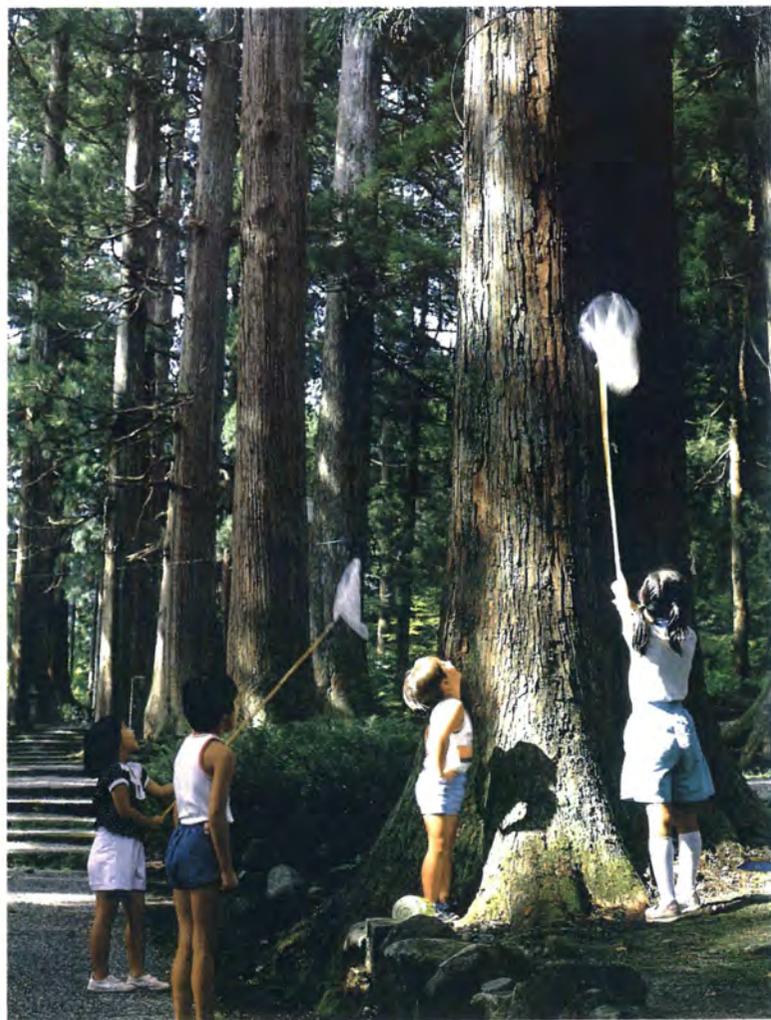
思い出したくも二度と行きたくもないという声も聞く中に、金山と猿樂の人々は折ふしの思いを次の世代へと語り送った。聞き継いだ子供達が互に目を見張って出会う日が近づく。

さる〇夫人の声が電話の向うから明るく響く。心豊かな人々と同じ土地に住んでいることこのしあわせに私の心もあたたかくふくらむのである。八月の風が流れる。

子等集う 八月八月話月

人待月の縁愛しも

(作家・小杉町在住)



太閤山ランド 貸ボートお目見え



夏キラリ

県民公園太閤山ランド水辺ゾーンのなかの一番大きな池である中堤池に新たに貸しボートがお目見えしました。

ボートは、手で漕ぐ二人乗りの口ウボートが十艇と、足でペダルを踏んで進む四人乗りのサイクルボートが十艇と揃っています。広い池にボートを漕ぎ出せば、アメンボやミズスマシなどの水辺の昆虫が思い思いの模様を描きながら、水面を滑っていきます。また、人懐こい野鳥たちも迎えてくれることでしょう。

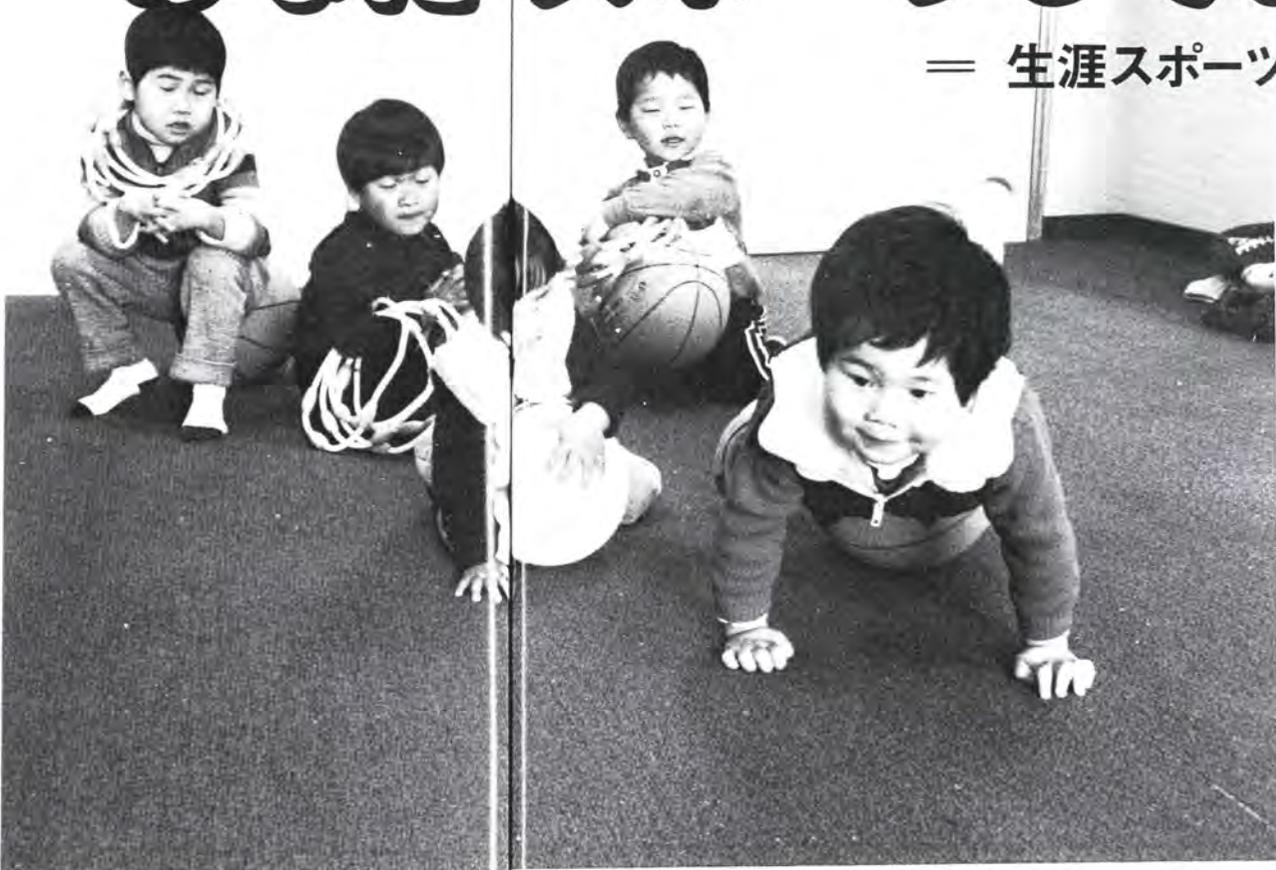
ボートに乗った感じは、湖面を吹き抜けてゆく風がとてさわやかで心地良い、暑い夏にピッタリ感じ。あなたも広い池にボートを漕ぎだしてみれば。なお、使用料金等は次のとおりとなっています。

ボートの種類	貸出料金 (30分)
口ウボート	500円
サイクルボート	300円

貸出期間は10月末日まで
貸出時間は午前9時から午後5時まで

あなた スポーツしてますか

＝ 生涯スポーツプランの概要 ＝



県では、従来から「県民ひとり一スポーツ」を提唱し、スポーツの振興に努めています。近年、生活環境の変化が進み、県民の心身の健康を阻害する要因が増加するにつれ、健康の保持増進・体力の向上を図るためのスポーツ・レクリエーション活動への意欲が強まってきています。また、余暇の増大などを背景に、その活動内容もますます多様化・高度化しています。一方、スポーツ・レクリエーションは、このような健康づくりといった側面だけにとどまらず人と人との交流や自然とのふれあいを通じて連帯

感を育てるなど人間性回復といった大きな効果ももっています。このようなことから、昭和五十八年に策定された富山県民総合計画では、多面的な効用を有するスポーツ・レクリエーションの振興に積極的に取り組んでいくための計画づくりを定めました。この程公表された「生涯スポーツプラン」(案)は年齢、性別、体力、各人の好みなど多様なニーズに応じて、県民みんなが生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しむための指針となっています。

プランの性格と役割

このプラン(案)は、県下の各機関、各団体の代表者からなる生涯スポーツプラン策定委員会が二年間にわたって調査研究を重ねてまとめたものです。

生涯スポーツプランは、県民の参加と理解のもと、県、市町村、民間等それぞれの役割を明確にして、スポーツ・レクリエーションの県民共通の新しい目標と方策とを定めるものです。また、富山県のスポーツ振興の基本方針として、行政の各分野における施策の企画および実施の総合性、計画性、実効性を

確保する役割も果たしていきます。

プラン(案)の構成

プランの計画期間は、昭和六十年から昭和六十五年度までの六か年の前期と昭和六十六年度から昭和七十五年度の十九年の後期となっています。

また、プランの構成は、第一章 生活とスポーツ、第二章

本県における生涯スポーツの現状と問題点、第三章 生涯スポーツのめざすもの、第四章 事業計画、となっています。

なお、事業計画については、今後の県および市町村における整備計画などを考慮に入れ、また、計画の進展に応じて逐次修正していきます。

生涯スポーツプラン(案)の概要

生涯スポーツプランのそれぞれ各章の内容を順に見てみましょう。

ました。

(一) 県民ひとり一スポーツの推進

昭和四十八年、県民の健康・体力の増進を図る施策を強力に推進する必要性から「県民スポーツの普及振興に関する基本方針について」富山県スポーツ振興審議会に諮問しました。

昭和五十年の同審議会の答申により「県民ひとり一スポーツ」が提唱され、指導者、組織、施設等を柱とする基本方針が示されました。

(二) 生涯スポーツの推進へ
近年の技術革新の進行に伴い労働形態も機械化、自動化し経済的ゆとりとともに余暇時間の増大など県民の生活内容は大きく変化しています。都市型の生活の広まりや車社会、高齢化社会への進行などから運動不足や体力低下などが社会的な課題となり、スポーツ・レクリエーション活動振興の目標を、これまでの「県民ひとり一スポーツ」の推進から「生涯スポーツ」の推進へと発展させています。

第一章 生活とスポーツ

―その意味するもの―

一、人間の生活とスポーツ
スポーツは本来、人間の自主性、自発性によって展開されるものであり、健康・体力づくりや望ましい人間形成・地域社会における連帯感、国際間の友好に役立っています。

二、スポーツに対する諸外国の動向

ヨーロッパ、アメリカ諸国では、文明病にむしばまれた人間が二十一世紀以降も力強く生き

ぬくために、国策として健康・体力づくりの必要性について啓蒙実践活動を推進しています。

西ドイツのゴールデンプラン、北欧(フルウエー)のトリム運動、アメリカのフィットネス運動やエアロビクス、イギリスのスポーツフォアオール等があります。

三、わが国のスポーツ

スポーツ先進国と言われるヨーロッパは、一般に地域の生活集団を基盤とするスポーツクラブを中心として育ってきました。これに対しわが国では、学校の校友会活動として競技スポーツ中心に育ってきました。

第二次世界大戦後、昭和三十年代から日本の復興と経済の高度成長とが相まって、昭和三十六年に「スポーツ振興法」が公布され、昭和三十九年の東京オリンピックの開催を契機に、国民のスポーツ活動への関心が急速に広がり、昭和四十七年文部大臣の諮問機関である保健体育審議会がスポーツの普及振興に関する基本方針について答申し、国民の生涯スポーツの実施にむけ、具体的な方向を打ち出しています。

四、本県のスポーツに対する取り組み

(一) スポーツの普及・発展期
昭和三年に富山県体育協会が発足し、各種競技団体が組織化され、スポーツの普及振興に目ざましいものがありました。

戦後は、食糧事情や生活状態が極度に悪化していたにもかかわらずいち早く復興し、昭和三十三年には、第十三回国民体育大会を開催し、競技水準の向上を図るとともに、県民のスポーツに対する関心が著しく高まり

五、日本一のスポーツ県をめざす

生涯スポーツプランを県民のプランとして着実に推進し、全体の目指す方向として、次の三つの挑戦目標を定めました。

- (一) 児童生徒の体力について日本一をめざす。
- (二) 県民のスポーツ人口、日本一をめざす。
- (三) 種目別の全国体協会や国民体育大会での優勝をめざす。

第二章 本県における生涯スポーツの現状と問題点

現 状

- 一、児童生徒の体力とスポーツ活動では
 - (一) 体力・運動能力では総体的にいが児童は低い。
 - (二) また、運動・スポーツの日常化は必ずしも定着していない。
- 二、県民のスポーツへの参加状況では



- (一) 県民の二人に一人はスポーツを行っている。
- (二) 職場におけるスポーツ・レクリエーション活動は、低調である。
- 三、競技スポーツ水準では
 - (一) 成人層の競技人口と競技水準が低い。
 - (二) ジュニア層における優秀な選手が少ない。
 - (三) 歴史の浅い競技等のスポーツ人口が薄い。
- 四、スポーツ活動の環境条件では
 - (一) 地域スポーツ指導者や職場スポーツ・レクリエーション指導者は量的に少なく、競技スポーツでは優れた指導者が少ない。
 - (二) スポーツ・レクリエーション団体やスポーツクラブでは、構成員の少ないものや財政基盤の脆弱なものがある。
 - (三) 身近なスポーツ・レクリエーション施設では、逐次整備

されつつあるが、競技スポーツ施設では、イベント開催に対応できないものもある。

課 題

- 一、児童生徒の体力づくり
小中高校生を通じて一貫した基礎体力の養成を図る。



二、地域スポーツの推進

県民の成人五人に四人のスポーツ人口をめざし、県民ひとりスポーツの普及を図る。

- 三、職場スポーツ・レクリエーションの振興
- 「従業者ひとり一スポーツ」の普及と



- 「我が社のスポーツ」の育成を図る。
- 四、競技力の向上
計画的な選手の育成・強化に努め、選手層の充実を図る。
- 五、指導者の養成確保

スポーツクラブの育成に努め、我がまちのスポーツ」の育成を図るとともに競技団体の組織の見直しを図り活性化に努める。

七、施設

- 地域スポーツ、職場スポーツ、競技スポーツのそれぞれの分野における計画的な指導者の養成や資質の向上を図る。
- 六、組織の拡充

施設の整備にあたっては、長期的展望に立って計画的な整備に努めるとともに、県、市町村、民間の役割分担を明確にする。





第三章 生涯スポーツの 目指すもの

その実現のために

第二章の課題を受け、四つのジャンルの中で、指導者、組織、施設等を含めてそれぞれの立場に立って計画目標と具体的方策をかかれています。その主なものは次のとおりです。



充実と活用。
二、地域スポーツ活動を広めよう

参加の機会づくりや情報提供の拡充、クラブや団体など活動組織の育成、指導者の養成確保、身近な体育・スポーツ施設の整備充実。

三、職場スポーツ・レクリエーション活動を進めよう
職場体操の普及、職場スポーツクラブの育成、指導者の養成確保、組織の育成、職場のスポーツ・レクリエーション活動施設の整備工夫。

四、スポーツ水準を高めよう
優秀選手の育成強化、二千年国体実現に向けての開催準備体

第四章 事業計画

制の確立、イベントの計画的開催、優秀なコーチの育成、競技スポーツ施設の計画的整備。

第三章で掲げられた目標と方策を具体的に期別(前期・後期)の計画目標を立てて事業の推進を図って行きます。県などが関与する主要な事業の内容は、次の通りです。

一、たくましい子供を育てよう
県立高校に、「歩くスキー」の整備を図ります。また、中学校の第二体育館は十五学級以上の大きい学校を目標に三十一校に、格技場は現在の五十二校から八十校に、プールは五十六校から六十六校に増やします。高校では、第二体育館を二十二校あるのを三十八校に、格技場はあと二校設定して三十九校に、トレーニング場は四十三校を目標に、プールも障害児学校を中心として八校に整備を進めていきます。

二、地域スポーツ活動を広めよう
地域スポーツ活動を広めるため、「地域スポーツの日」の制定、「スポーツ奨励賞」の設置を行います。また、夏、冬と県民レクリエーション大会、県民スポーツ大学校などを開催し、県民のスポーツに参加する機会を増やします。また、ライブステージに応じたスポーツプログラムを作成し情報提供に努めます。生涯スポーツ振興指定市町村は、全県下三十五市町村の指定をめざし、我がまちのスポーツの育成を図ります。スポーツレクリエーション団体の七団体を十二団体に、スポーツ少年団も四百三十一団を七百八十団に育成します。社会体育指導者を三千三百二十人から五千八百五十人に、公共社会体育館および指定キャンプ地管理指導員を三十一人から三十四人に、スポーツリーダーバンクも千九百六十五人から五千八百五十人に増員し、傷害補償制度も導入します。



五カ所に、テニスコート百四面を二百五十六面に、体育館六十五カ所を八十一カ所に、柔剣道場二十三カ所を三十一カ所、プール六十八カ所を七十一カ所に増やします。野外活動施設の整備についても地区および近隣公園の広さが県民一人当り一・六平方メートルを三・〇平方メートルと目標整備水準をたてています。

また、市町村が国体の開催に対応できる施設(サッカー場、ラグビー場、軟式野球場、ホッケー場)を整備しようとする時の補助制度の強化をします。さらに学校体育施設の開放をさらに促進するための小・中学校の運動場照明施設を百校から百六十校に、クラブハウスも十三カ所から六十三カ所に増やし、開放校を現在の二百一校から全校の三百三十五校の開放をめざします。高校でも運動場照明を

毎年一校ずつ設置し八校を二十四校に、昭和六十五年までに四十五校を開放します。
三、職場スポーツ・レクリエーション活動を進める

職場体操や軽スポーツの開発、普及、巡回指導を通じ「我が社のスポーツ」の育成に努めます。四、スポーツ水準を高める
強化選手とコーチの指定制度を導入します。六十七年全国中学校選抜大会、六十九年全国高校総合体育大会、七十五年の二千年国体をめざして、ジュニア対策事業を五種目から三十三種目に、優秀コーチの育成を八百名から千三百名に増員します。また、二千年国体をめざした施設として、五十ヶ所競泳プール、二十五ヶ所補助プール、十ヶ所飛込プール、射撃場、漕艇場等を整備します。

このほか、総合体育センターに陸上競技場、テニスコートをつくるほか、五十ヶ所温水プールの付設施設として飛込プール棟、補助プール棟、中アリーナを含む研修棟の建設を計画しています。なお、高校総合体育大会、国体の開会式のメイン会場となる大規模運動公園の整備については基本構想を掲げ、県民への利便性、競技会運営の効率性等を配慮したものを考えているところです。

バイオテク最前線

富山県におけるバイオテクノロジー研究の現状



▲水稲F1品種の試験田

が分っており、本県においても「F₁」品種の育成技術を確認し、病気や害虫に強くて味の良い、収量の多い品種を育成しようとしています。

富山県は、昔から種もみの生産県で、全国流通量の七十%を占めており、水稲の優良品種育成は、県農業の重要な課題となっています。

県では、富山テクノポリス構想の一端として富山県バイオテクノロジー推進懇談会を設置し、バイオテクノロジー研究開発の推進を図っています。

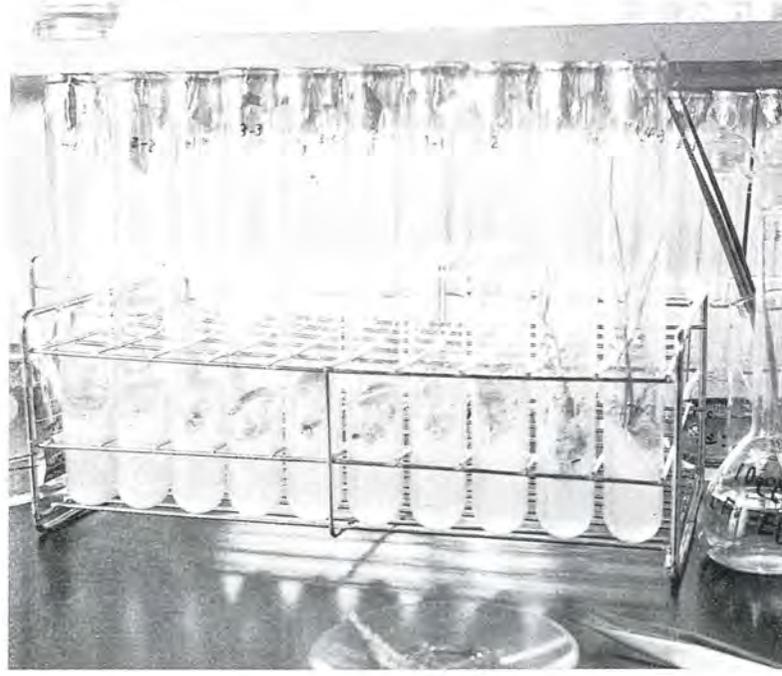
また二十一世紀に向けて農業および水産業の技術革新による飛躍的な発展をめざして昭和五十九年度からバイオテクノロジープロジェクト研究を進めています。この研究では、県の各試験研究機関が大きな課題について共同して研究を行い、研究の効率化、内容の充実、精度の向上を図っています。また、この研究の企画立案および効果的な推進を図るため、農業水産部技術会議の場で検討を行いながら、国、大学、民間企業の研究機関と連携を図ることになっています。

バイオテクノロジーとは、「生物自体やそれがもつ機能を有効に利用する技術」とのことです。また、その技術・手法も遺伝子組換えや細胞融合等の遺伝子操作、組織培養等の細胞培養、発酵等の微生物・酵素利用などの様々な広い分野にわたっています。

組織培養による水稲品種の育成 (農業試験場)

組織培養とは、作物の組織の一部を人工的な培地の上で培養し、一個の作物体にするをいいます。

従来の水稲の品種改良では、



▲薬からの葉、茎、根の再分化

温室で一年間に三回の稲刈りを行っても十二年間から十三年間の長い年月を要していました。

そこで現在、水稲の花粉を包んでいる袋(薬)を試験管の中で培養する技術を確認し、従来の品種改良技術と組み合わせることによって、優良品種の育種

年限を大幅に短縮しようとしています。

この方法は、もみを水田に播種しないで、薬を試験管で培養しますので、いろいろの組み合わせを大量に、しかも、薬を凍結保存することによって年間を通して品種改良ができる利点があります。

水稲F₁品種の育成 (農業試験場)

「F₁」とは、雑種第一代を意味し、両親の組み合わせをうまく行くと、両親よりも優れた性質を持つこととなり、この性質を利用したものを「F₁」品種といえます。

「F₁」品種は、一般に野菜、花き、飼料作物等によく使われていますが、水稲は同じ花の中で受粉する、いわゆる自家受粉作物のため雑種の水稲を作ることが非常に困難です。

しかし、オシベの機能を失った雄性不稔系統のイネの利用により「F₁」品種「ハイブリッドライス」を能率よく作れること

組織培養による花き品種の育成 (農業試験場・野菜花き試験場)

一、テトラチューリップ品種の育成

「テトラ」とは、ギリシャ語で数字の四を意味します。一般に植物は、染色体がnの倍数(2n)二倍体ですが、チューリップの成長点を組織培養して四倍体の新品種を育成しようとするものです。



▲野菜花き試験場でのチューリップ育成研究

チューリップの品種改良は、国内では、富山県においてのみ行われており、本県の新品種育成が全国の市場に大きな影響を与えることとなります。

物としてチューリップとともに有名です。しかし、カノコユリは、最近生産量が伸び悩みとなっており、新品種の育成を図り、生産量を拡大する必要があります。

テトラチューリップは、大輪、大型の品種になることが分かっており、今後の開発に期待が寄せられています。

二、胚培養によるユリの種間雑種育成

ユリは、一般にカノコユリとテッポウユリのような種間では受精することができても種子にまで成長しないで死んでしまいます。

しかし、受精した胚の一部を切りとって組織培養すると植物

体まで成長させることができずので、カノコユリをベースにいろいろなユリと交配させユリの新品種を育成しようとするものです。

◀ユリの交配（花柱切断受粉）



微生物による害虫防除
(農業試験場)

イネミズゾウムシは、昭和五十七年富山県に侵入してきた水

稲の害虫です。イネミズゾウムシは、日本にはメスしかいないのですが、単為生殖による繁殖力が大きいことや水や泥の中でも生息するため、農薬による防除だけでは、十分な効果がありません。そこで、土壌中の糸状菌を利用してイネミズゾウムシの生物的防除技術を開発しようとするものです。



◀イネミズゾウムシ

牛の受精卵移植
(畜産試験場)

昨年十二月、本県で初めて双子のメスの肉牛が乳牛から生れ知事が置県百年にちなみ「とみえ」、「ももえ」と命名しましたが、この双子は現在すくすくと育っています。牛は一年に一頭しか子を生むことができません。牛の受精卵移植は、発育や肉質の良い優良な肉牛の受精卵を乳牛に二個ずつ移植し、肉牛の増殖を図ろうとするものです。

受精卵の凍結保存技術や分割

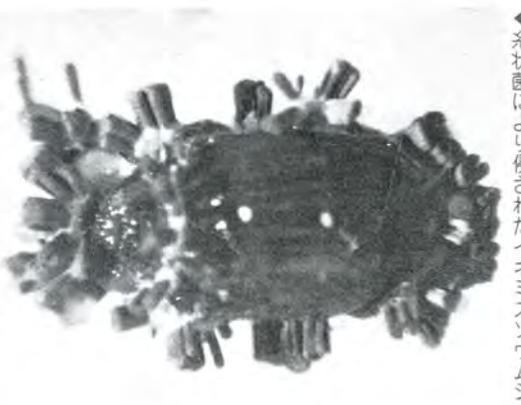


◀牛の受精卵

移植技術の実用化により、牛の受精卵保存バンクも生れてくる



◀大きくなった「とみえ」と「ももえ」



◀糸状菌により侵されたイネミズゾウムシ

◀サクランボの成長を調べます。



◀雌性化したサクランボ



微生物・酵素利用による未利用柿の発酵
(食品研究所)

三杜柿の干柿は、地域特産物として有名ですが、干柿にする場合、一個が約二百g以上の重

さが必要とされ、すべての果実を干柿の原料とすることができません。そこで、一個二百g以下の規格外や傷のついた柿を利用して柿ワイン、柿ブランド、柿酢などを作ろうとするものです。この場合の醸造は、能力の高い発酵菌を作り出して反応を連続的に行うバイオリクターを活用することとし、発酵の能率化を図ることにしています。

魚類の雌性発生
(水産試験場)

魚類は、他の動物と同じくオスとメスの生れる割合が1対1に近いのですが、サクランボでは大きく成長するメスが珍重されます。サクランボは、名産「ますのすし」の材料として利用されていますが、高級魚であり資源の増大が望まれています。そのため、サクランボのメスだけが生れる技術を開発し資源の増大を図ろうとするものです。

バイオテクノロジーの研究は今、はじまったばかりです。今後の技術開発に負うところが多いのですが、県内の農業および水産業に活力を与えるうえで重要な要素と言えます。今回ここに紹介した研究は従来の研究に比べて研究方法も確立されておらず、基礎的な分野の解決も必要であり、県では、国立の研究機関、大学の研究室に研究員を派遣し人材の育成にも努めています。研究の推移については、長い目で見守っていただきたいと思っております。なお、農業及び水産業分野のバイオテクノロジーについてご教示くださるごことがありましたら次のところまで、ご連絡ください。

富山県農業水産部
農産普及課
専門技術員班
☎0764-31-4111
(内線 571~573)



▲未利用柿の発酵試験

杉沢の沢スギ

黒部川扇状地の末端部、海岸に近い入善町吉原に沢スギが生えている。名水百選の一つにも選ばれた黒部川湧水群のわき水の小谷が平行し、びょうぶのようになまんだ杉林となっていてこの場所を「杉沢」といい、この杉を「沢スギ」と呼んでいる。

この杉沢は、昭和四十四年当時には約四十五畝近くあったと推定されているが、農業構造改善事業によるほ場整備によってこれらの林は水田化され、現在約二・七畝が残っているにすぎない。ここには、沢スギをはじめ、高木のハンノキ、アカガシ、タモ、低木のサワアジサイ、ツルウメモドキ、林の縁にはヤブデマリ、タラノキなど多種類の樹木が繁っている。草本には、シヨウショウバカマ、オオバギホウソウなど湿性のものが多い。

沢スギの特性としては、①材質が重くかたい ②根元からよく枝が出るといった萌芽性が強い ③雪の重みに耐えながら曲がっても折れない強靱な枝をもつ ④強風で倒木しても地表についた枝から発根する。これらの特性は平地に生える杉には見られないが、この沢スギは、タテヤマスギの地方種とみなされている。

川の多い日本で急流地の扇状地には、この杉沢に類した地形と植物生態とが相当あつたと推定されるが現存せず、この杉沢が唯一、国指定の天然記念物として残っている。

見た聞いた 私の県政ルポ

和田川水道管理所



高岡市島新にある和田川水道管理所。ここでは和田川総合開発事業の一環として砺波市増土地先に築造された和田川ダムを水源に、上水道を高岡市と射水上水道企業団へ、そして工業用

水を高岡・新湊の臨海工業地区へ供給しています。

今回は、この和田川水道管理所を富山市にお住まいの岡田渥子さんにルポしていただきました。

和田川水道 管理所を見学して

日本の昔ばなしにはよく川が出て来て、主人公が洗濯をした



▲これが、今日の元の水です

り、舟で渡ったり、泳いだりします。遊び場であり、生活そのものであったりします。



▲水量、水質などコントロールしています

今も上水道の発達していない未開国では、生活用水として川の水が、そのまま用いられているところがある。少なくありません。上手で飲みを洗って、すぐ下手で皿を洗っていただきます。どうみても不潔だと思えますが、川の水には有機物を無機物にかえてしまう自

浄作用というものがあって、それが自然に働き、何ともなかったかのようにとうとうとした流れをつくっているのです。そんな川の水を飲料水として、又工業用水として利用するためにダムが出来、浄水場が作られました。



▲工業用水もつくられています

降り続いた雨でたっぷり水分を含んだ木々の緑がむせかえるような一日、十一万平方メートルの広大な敷地の中央にある和田川水道管理所をおたずねしました。ここでは飲料水と工業用水の二つを作っています。まず飲料水は、高岡市と射水上水道企業団とへ合わせて一日に六万六千八百立方メートル給水し、工業用水を新湊市と高岡市にある四十五の工場に二十三万立方メートル給水しています。大きな水の間屋だと言

えます。

それでは汚れた川の水がどのような方法で清浄になって私達の口に入り工場に使われる水になるのでしょうか。所長から図面や施設の中、そして実際に外に出ていていかに説明していただきました。

和田川から引き込まれた水の溶解

物をバックさせ、ろ過し、塩素消毒をして、いったん浄水池と呼ばれる地中のタンクに貯められたものが飲料水、溶解物をパックしただけのうわ水を、使用しているのが工業用水です。ろ過池と呼ばれる水槽は直角三角形が二十四集まって出ています。この池に沈んでん池から送り込まれて来た水をサイフォン方式で流し、下に敷きつめてある砂の層を通して小さなゴミを取り除いています。ろ過するための砂も、一日一回、一時間かけて洗濯して清潔にするそうです。この行程を経るたびに美しく出来上っていく水を見て、実にうまいしくみになっているナノと感心しました。

日々の暮しに美しい水は、欠くことの出来ないものの一つです。私達の祖先が、水路を変え、隧道(穴ぐり)を掘るなど、治水に努めました。大門川が庄川の本流となった寛文の頃から重要な生活水路として活用されてきた和田川は、戦後、総合開発による水資源として、新産業都市

建設の役割を果しています。蛇口をひねると、ジャーと水が出て来て、いつでも好きなだけ使うことが出来る。そんなあたり前のことが、自然の大きな恵みと人々のたゆみない働きとによって、支えられていることをしみじみとわかっていただきました。

レポーター 岡田渥子

県広報課では、この「私の県政ルポ」のコーナーに参加・協力して下さるレポーターを募集しています。

▼応募要領

応募は葉書または電話で

富山市新総曲輪 一番七号
富山県知事公室広報課
「私の県政ルポ」係宛

見たい施設名など
氏名
住所
連絡先(電話番号)
性別・年齢・職業
(注)フルネームの場合は代
表者のお名前をお願いします。

▼電話での応募および問い合わせ
県広報課 ☎(0764)321-1411 (内3218)



▲水槽が移ることに浄化されていきます

成人病と運動

運動が健康や体力の維持増進、あるいは疾病の予防や治療に効果があるという事は、以前から知られていますが、運動生理学の進歩によって、疾病における運動効果が科学的に明らかになりつつあります。私たちの日常生活の近代化・機械化に伴っていわゆる運動不足病が増加し、健康の維持、疾病の予防に対する運動の重要性がますます注目されるようになってきました。

糖尿病

動脈硬化は、動脈にコレステロールなどが沈着し、血管が狭くなったり、硬くなることをいいます。この原因のひとつとしては血液中のコレステロール・

中性脂肪の増加が考えられます。運動をすると中性脂肪がエネルギー源として使用されるので、これを減少させることができます。また、持久的な運動を行うことによって代謝のしくみが円滑になり、その結果、血中コレステロール値も下り、コレステロールの質もよくなる(いわゆる善玉コレステロールが増える)ことも明らかになっています。

エネルギーが燃焼され、糖分の利用が行われるからです。ふつう糖分が利用されるときは、それに見合う量のインシュリンが必要ですが、運動をする

高血圧

高血圧については、運動の種類を選ぶことが大切です。重量上げのような運動は、筋肉の中の張力が高まり、血液の通りが悪くなるので、必要な血流を保つために血圧が上がってしまいます。それに比べ体操・歩行などの運動は、筋肉の張力は変わりませんが、血液の流れにも抵抗が起きません。

このことから高血圧には、重量上げのように力を出す運動は逆効果になり、体操・歩行のような軽度の運動が適当といえます。このように、運動はそれぞれ

の疾病に、ある程度の効果が期待されます。ただし、同じ疾病でも、重症度、合併症、年齢などの違いによって、運動を行う

身体を動かすことから始めてみませんか



赤十字血液センターは、県民の皆さんの暖かい善意に支えられて、県内の医療機関からの血液需要に応じてきました。しかし、近年の医療技術の進歩はめざましいものがあり、それによって血液の需要は、増加の一途をたどっています。

献血のあゆみ

輸血が一般的になったきっかけは、昭和五年、当時の浜口雄幸首相が東京駅で狙撃をうけ、輸血により生命をとりとめた事件からだといわれています。その後、売血等により、いわ

献血の現状

昭和五十九年度中、富山県内では、延べ七万七千七百九十八人の方々に協力をいただきました。現行の献血制度が本格的にスタートした昭和四十年の四万八千九百九十一人と比較すると隔世の感があります。献血のほとんどが移動採血車によるもので、その割合は九十七・四割となっています。

献血の血液

献血いただいた血液については、県赤十字血液センターで所定の検査を行った後、全血製剤、血液成分製剤等を製造して医療

機関へ供給しています。

なお、輸血を受けた場合には、血液製剤の薬剤料の自己負担相当額を患者さんからの請求に基づいて還元する制度があります。詳しくは、医療機関、県赤十字血液センターまたは県薬務課までお問い合わせください。

善意の人々による貴重な血液が多くの方々の医療に役立っています。しかし、一部の血液製剤については、輸入血液に頼らなければならぬ現状にあります。

科学の進んだ今日においても、人工的に作り出すことのできない血液、その必要量の確保のため、献血への一層のご理解とご協力をお願いします。

献血すると生化学的検査結果が通知されますので自分の健康管理に役立てることもできます。

献血者数(A)	梅毒検査	HBS抗原検査	肝機能検査	その他	計(B)	B/A
	陽性者数	陽性者数	異常値者数			
人	人	人	人	人	人	%
77,798	173	1,621	1,425	1,124	4,343	5.6

(注) 検査の結果については、厳重に管理し、本人以外は一切連絡しません。

職場での献血も行われています



年間を通して食卓にのぼるトマトも、本来は今が旬。トマトの赤身はリコピンおよびカロチンによるものですが、その発色のためには、摂氏三十度以上の温度が必要とされています。

とやま旬の味

トマトは南アメリカ熱帯地方が原産のナス科の多年生の植物ですが、日本で現在広く栽培されているのは、品種改良された一代雑種がほとんどです。成分としては、ビタミンA、B、Cが豊富で色素として赤黄色のカロチン、紅色のリコピンを含みます。果汁にはアミノ酸や、ちよつと酢っぱい感じを与えるクエン酸も含まれています。

トマトは、臭気が強く、子供のころに栄養があるからと言って無理やり食べられた経験を持たれる方も少なからずおられるはず。生食は臭気が強いけれど、お湯に浸して皮をむけば少しは柔らぎます。



最近では生食のほか、価格維持という面もあって、種々加工して食用にします。水煮かんづめ（果実そのままの形で水煮したもの）、ピューレ（果実を砕き裏ごしし種子を除いたもの）（ペースト）ピューレを煮つめて濃縮したもの、ソース、ケチャップなど様々なものが市販されています。でも野菜はやつぱり新鮮が一番。水洗いし生食したり、ミキサーやジュースも普及しているのでジュースとして飲むのも良いのでは。

みんなであいさつ「声かけ運動」——婦中町——

豊かな心、豊かな地域づくりをすすめているグループがあります。婦中町婦人地域活動推進委員のみなさんです。

昭和五十四年に結成されたこのグループのメンバーは、現在、森文子さんを代表に十六名。このグループは、結成以来、人と人が心をつなぎ合って生きるにはどうすれば良いかを課題に各種の活動を行ってきましたが、やつぱり話をすることが一番と「声かけ運動」をすることになりました。

まちからむらから



大きな声であいさつしようね

んな、だれとでもあいさつのできる生活習慣を身につけてもらおうとするものです。

「いってらっしゃい」、「おかえりなさい」、のなにげないひとことが親子のつながり、家族の結びつきを深め、また、「こんにちは」のひとつとが近所の人との交流につながっていくことと思います。

昨年、白地に黒く「声かけ運動」と染め抜いたタスキを作り、各種の行事にはそれをつけて参加しました。今年、あいさつ標語三角柱（いってらっしゃい、おかえりなさい、こんにちは）を町内の小学校四年生四百七十人にプレゼントしました。

くらしの相談室

各種講座の勧誘に注意!!

勤務先や自宅に資格取得講座の受講案内が送られてきて、その後、電話がかかり講座を受けるよう勧誘されます。その電話が強引であったり、長時間であったりして周囲の目や気にかかり、あいまいな返事をする、後日教材と一緒に契約書が送られてきてびっくりすることがあります。これは俗に「土商法」といわれるもので、それによるトラブルの相談が相次いでいます。

一、二、三の事例を上げてみると、

経営法務管理士

経営法務管理の資格をとるために講座を受けないか、と勤務先や自宅に何度も電話が入り三百名募集するがあと二名で定員に達するといわれ、契約してしまつた。四月から十回の受講で経営法務管理士になれるというがよく考えたら勉強する時間がないのでやめたいと思い、電話で連絡したが解約してくれない。何とかならないだろうか。

企業法務管理士

勤務先に資格取得講座のダイレクトメールが送付され、後に電話で「企業法務管理士が国家資格に移行する。今回のセミナーを受けると国家試験が免除されるが、本日で申し込みが締め切られ、あと一人の空がある。この電話で手続きが完了する」等と説明され、国家試験になるのであるばと思つて承諾した。後日そのような動きのないことがわかり、内容証明郵便でやめたいと意思表示したところ「解約できない」と勤務先に何度も代金請求の電話がかかってきて困る。

土地建物鑑定士

職場に一時間余りもの長電話がかり面倒になつて書類を送れといつただけなのに契約が成立していた。応じなければ契約金の五倍の損害賠償金を請求するという。

技術講座の講師養成

日本学術連盟より紹介されたが、ビデオソフトの活用技術養成講座の



講師を養成しているのでと入会を勧められ、あいまいな返事をしたところ、商品、確認書、契約書が送られてきた。やめたいと思いつぐ返送したがまた送り返してきた。

この他通信講座など各種講座の勧誘が多くみられます。

資格の付与については、民間の各機関でそれぞれの判断に基づいて多種多様な資格が設けられ、その数も百種以上も有ります。しかし、これらは、法的に規制されていないので民間各機関での自由な運用にまかされているのが実情です。

講座や通信教育の中には、公的な資格とまぎらわしいニセの資格を売り込んで講座を受けさせるものが多い、受講を希望する場合は信用のおけるところであるかどうか、勉強の内容、受講料、受講場所、資格等、自分が納得できるものであるか確認することが必要です。

また、ことわる場合は、先の例のように、あいまいな返事は相手に契約したとみなされることが多いのではつきりとしたことわることが大切です。

(消費生活センター)

6月16日～7月15日

6月17日

☒ 6月議会始まる

6月定例県議会が招集されました。会期を28日までの12日間と定め、知事が提案理由説明を行いました。

議会では、生涯スポーツプラン、とやま21世紀神通川水公園プラン、北陸新幹線の着工問題などについて熱心な質疑が行われ、25議案が可決されました。



▲議会、提案理由説明

6月21～23日

☒ 観光と物産まつり

富山産業展示館で「いきいき富山観光と物産まつり」が開かれました。

会場には新鮮な味覚・伝統のある工芸品の展示・即売コーナー、工芸品制作の実演コーナーが設けられ、連日、家族連れや見学者で賑わいました。

また、22、23日の両日には、郷土芸能紹介コーナーで県内市町村団体による郷土芸能が披露されました。

輸出関係については県内外の輸出実績のある企業、海外で活躍している企業及びこれらを支える中堅企業の製品を一堂に展示紹介しました。また輸入関係では、外国政府、貿易関係機関等の協力を得て、世界各国の飲食料品、家庭用品、民俗色あふれる商品などを展示即売しました。

6月28日～7月1日

☒ イメージアップ写真展 とやまの光と色と心

とやまの色は何色だろう。この素朴な問いかけを県民のみなさんと一緒に考えてみよう、県では、公募の写真や詩等による写真集「シンフォニーとやま」を制作しましたが、この写真集に応募のあった作品の中から113点を展示しました。

期間中、約千名の皆さんが観覧し富山の光と色と心を見つめました。

7月2日

☒ 遼寧省と農業技術交流

中国遼寧省初級農業技術研修員が来県し、県庁を訪問しました。

これは富山県と中国遼寧省との交流事業の一環として、遼寧省から初級農業技術者を富山県に招請し、県内の農業改良普及所、農家等での体験研修を通して農業技術の積極的な相互交流を図るため実施されるものです。

今回来県したのは、李秀平さん他三名で、稲作、野菜、畜産のそれぞれの部門で7月1日から9月5日までの67日間研修を受けることになっています。

☒ 生きた英語が学べます

県内の中、高校生に生きた英語を教える米国人英語指導主事助手6人が着任しました。

教育長から各々に辞令が交付され国際コースのある伏木高校に1人、総合教育センターに5人が配属されました。6人は、今後1年間、県内



▲富山の物産がスラリ勢ぞろい

の各中学・高校を3回から4回巡回して指導に当たる予定です。

7月8日

☒ 東海北陸自動車道 福光一砺波間中心杭打式

東海北陸自動車道の福光インター～砺波ジャンクション（北陸自動車道と分岐）の中心杭打式が行われました。

この東海北陸自動車道は、愛知県一宮市において名神高速道路と分岐し岐阜市・各務原市の境界付近を経

て、関市、美濃市、八幡町、白川村を通り、上平村・福光町そして砺波で北陸自動車道と結ばれます。

今回、杭打式が行われた福光一砺波間（11キロ）は、今後の用地交渉、用地買収を経た後、工事費約190億円（概算）をかけて建設されることとなります。

7月9日

☒ 井波町で知事のまちなまり

井波町を訪れた知事は、地区公民館、地区体育館をはじめ、全国でも

珍しい雨水排水と流雪機能を併せもつスノーレス都市下水路などを見てまわりました。また、井波小学校では、生徒と知事との青空対話集会が、そして町の社会福祉総合センターでは住民代表との語るつどいが開かれ意見の交換を行いました。

7月12日

☒ 県庁別館起工

県庁東側に新築される県庁別館の起工式が行われました。

今回新築される県庁別館には、情報公開のための一般閲覧室や事務室をはじめ、文書庫、会議室が設けられます。建物の一階部分は歩行者が通り抜けできるピロティーになるほか、三階は県庁本館・新館、県民会館とそれぞれ渡り廊下でつながれます。

なお、この別館は、62年4月の情報公開制度のスタートとともにオープンする予定です。

7月14日

☒ サンパウロ州へ出発

ブラジルのサンパウロ州と友好県州の締結をするため中沖知事をはじめとした調印団が出発しました。（この内容については9月号でお知らせする予定です。）

6月24日

☒ 世界選手権、頑張ります

23日、埼玉県の戸田ポートコースで開催された漕艇競技ジュニア世界選手権大会最終選考会の女子シングルスカルで優勝した渡辺清美さん（八尾高校3年）と男子シングルスカルで3位に入賞した藤谷忠之さん（同校2年）とが県庁に中沖知事を表敬しました。

優勝した渡辺さんは、8月に東ドイツで開かれる世界選手権に日本代表として出場することになっており、「世界選手権でも一生懸命頑張ります」と元気に抱負を述べました。

6月27～29日

☒ 世界にひらく暮らしの日 トレードフェア'85

輸出入製品の販路拡張、国際親善交流の促進を図ろうと、とやまトレードフェア'85が産業展示館で開かれ



▲知事と懇談する渡辺さん(中央)と藤谷さん(左)

情報 スクランブル

お願いいたします

■住宅金融公庫の資金をご利用の方へ
マイホーム取得のための公庫資金を必要としている多数の方々の要望に添えていくためには、資金に余裕のできた方に繰り上げ返済していただき、再び融資に回すことが必要となってきました。

資金に余裕のできた方々の繰り上げ返済をお願いいたします。

▼繰り上げ返済の手続き
○現在、返済金を払込み中の金融機関に申し出てください。

○事務処理の都合上、七日前に事前連絡をしてください。

募集

■花時計用花壇デザイン
県庁前公園の花時計をあなたのデザインで飾ってみませんか。テーマは「とやまの四季」を表現するもの。花壇デザインに適した、単純で理解のしやすい作品を募集しています。

▼応募期間 九月十日まで
▼応募点数 ひとり三点以内

表彰
最優秀作品 一点
優秀作品 二点
佳作 五点

最優秀・優秀作品は、来年度の花時計用花壇デザインとして使用されます。

送り先・問い合わせ先
婦中町上轡田四二 ☎〇七六四
(六六)二四二五 財団法人
花と緑の銀行へ



○手数料は無料です。
○金額に限らず、一部の繰り上げ返済もできます。

催し

■富山テクノポリス夏季セミナー
Uターン就職希望の皆さん、また、富山で就職しようと考えておられる学生の皆さん、富山テクノポリス夏季セミナーが開催されます。

このセミナーでは、富山テクノポリスや活性化する産業界についての講演のほか、就職ガイダンスも行われます。来春、就職を希望される方方の一人でも多くの来場をお待ちしております。

▼日時 八月十一日(日) 午後一時 三十分から午後四時まで。

▼場所 富山県民会館大ホール。

■施設と友の運動祭
施設に入所しておられる重度身体障害者と県民(とくに青年)との交流・相互理解を図ろうと、スポーツや音楽活動を通じての身体障害者青年交流事業が行われます。

▼日時 九月一日午前十時から。

▼場所 テクノホール

8月街頭献血日程

日曜	場所	時間	日曜	場所	時間
6日	福光健康増進センター前	10:00~15:30	18日	富山市中央通り前	10:00~16:00
8日	氷見市役所前	10:00~15:30	21日	福野町役場前	10:00~15:30
9日	大門町福祉会館 大島町役場前	10:00~12:00 13:00~15:30	24日	富山駅前	10:00~16:00
10日	富山駅前	10:00~16:00	24日	高岡駅前	10:00~15:30
10日	高岡駅前	10:00~15:30	25日	高岡駅前	10:00~15:30
11日	富山西武前	10:00~16:00	31日	富山駅前	10:00~16:00
17日	魚津市サンプラザ前	10:00~15:30	31日	高岡駅前	10:00~15:30
17日	富山駅前	10:00~16:00			

近代美術館夏期延長開館

県立近代美術館では、県民の皆さまの御要望に応え、夏の間、開館時間を延長しています。

期間 8月31日までの土・日曜日。
8月13日から8月16日まで。

延長時間
通常より2時間延長し、入館は午後6時30分まで、閉館は午後7時。

また、第1回世界ポスター展の期間中の土・日曜日は午後2時から当館ホールにて、講演会または映画会を開催していますので、こちらの方もお楽しみください。

心当たりありませんか

■ゆくえのわからない人を捜す運動
警察では、八月を特に「ゆくえのわからない人を捜す運動」期間としています。家を出したまま所在不明の方や、身元がわからないで死亡された無縁仏の身元を確認するため、全国的に調査・相談活動等を行います。

これらの方々の所在や身元を一日も早く確認して、ご家族やご遺族のもとへ返してあげるために、身近な方でゆくえのわからない方の方には、県警察本部鑑識課または、最寄りの警察署までご連絡をお寄せください。

また次の日取りで出張相談所を開設しますのでご利用下さい。

八月五日、六日 高岡警察署
八月七日 砺波警察署
八月八日、九日 富山警察署
八月十二日 魚津警察署

開設時間は午前九時三十分から午後五時までです。

各種相談窓口のご案内

- 県政については
- 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民電話)
 - 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411
 - 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311
 - 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151
- 消費生活については
- 消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内 ☎0764-32-2949
 - 消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎0766-25-2777
- 暴力・サラ金などについては
- 困りごと相談所 警察本部防犯少年課 ☎0764-33-8080
 - 覚せい剤・サラ金相談 警察本部生活保安課 ☎0764-41-8904
 - 暴力団セロ110番 警察本部捜査第二課 ☎0764-42-0110
- このほか各警察署でも受け付けています。



■ 老人若返り祭
親・子・孫、三世代が共通の場に集い、世代間の温い心の触れ合いを深めるとともに、年寄り自らが生きがいを見出し若返りを図る、老人若返り祭りが開かれます。

演芸、のど自慢大会、老人作品展、即売会などもりだくさんの内容が準備されています。

▼日時 九月四日午前十時から午後四時。
九月五日午前九時から午後四時。

▼場所 県民会館大ホール及び地下展示場。



締めてます
シートベルト